

平成18年度論文・報告等執筆一覧

[企画部]

- ・藤原智・大滝修(2007)：陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS)のデータを使用した地理情報の把握等に関する研究の概要について，国土地理院時報，第111集，101-105
- ・宮川康平・明野和彦(2007)：第17回国連アジア太平洋地域地図会議報告，国土地理院時報，第112集，1-6
- ・Planning Department, Geodetic Department, and Topographic Department (2007)：50 Years of Antarctic Research Expeditions by the Geographical Survey Institute, 国土地理院報告(欧文)，第54巻，1-48

[測地部]

- ・紀小麗・白井宏樹・鈴木啓・何金蘭・藤原智・福崎順洋(2006)：Modeling of Spatial-temporal changes of geomagnetic field in Japan. (日本における磁場の時空間変化モデルの構築)，Earth, Planets and Space, Vol. 58, No6, 2006, 757-763
- ・藤原智・飛田幹男・佐藤浩・小沢慎三郎・宇根寛・小荒井衛・仲井博之・藤原みどり・矢来博司・西村卓也・林文(2006)：Satellite Data Give Snapshot of the 2005 Pakistan Earthquake (衛星データが捉えた2005年パキスタン北部地震)，EOS, TRANSACTIONS AMERICAN GEOPHYSICAL UNION (米国地球物理学連合会報)，第87巻，第7号，73
- ・高島和宏・石本正芳・町田守人・藤咲淳一・小門研亮(2006)：機関報告：国土地理院における測地VLBI，VLBI懇談会シンポジウム2005研究集會集録，5-8
- ・高島和宏(2006)：VLBI施設の一般公開とPR手法，VLBI懇談会シンポジウム2005研究集會集録，124-127
- ・小門研亮・藤咲淳一・高島和宏(2006)：VLBI観測データのグローバル解析，VLBI懇談会シンポジウム2005研究集會集録，128-131
- ・石井敦利・小山泰弘・市川隆一・久保木裕充・高島和宏・藤咲淳一(2006)：CARAVAN2400 小型電波望遠鏡の現状報告，VLBI懇談会シンポジウム2005研究集會集録，148-151
- ・和田弘人・松坂茂・藤原智・藤原みどり・雨貝知美・飛田幹男・矢来博司(2006)：国土地理院のALOS/PALSARを利用した干渉SAR事業計画，測地学会誌，第52巻，第4号，285-296
- ・藤原智(2006)：宇宙から大地の動きを見る衛星干渉合成開口レーダー SARによる地殻変動検出，日本地震学会広報紙“ないふる”，第56号，2-3
- ・田中愛幸・岩田和美・豊田友夫・平井英明・川口保・松坂茂・畑中雄樹・飛田幹男・黒石裕樹・今給黎哲郎(2006)：セミ・ダイナミックな測地系の構築に向けた取り組みについて，国土地理院時報，第110集，1-9
- ・小門研亮・町田守人・高島和宏(2006)：VLBIグローバル解析による地球姿勢パラメータの高精度決定，国土地理院時報，第110集，11-18
- ・平岡喜文・木村勲・檜山洋平・本田昌樹・雨宮秀雄・鈴木平三・竹本修三・福田洋一・東敏博(2006)：東アジア絶対重力基準網確立に関する共同研究(II)，国土地理院時報，第110集，19-25
- ・紀小麗・白井宏樹・鈴木啓・何金蘭・濱崎英夫(2006)：自然直交基底法を用いた一等磁気点の化成，国

土地地理院時報, 第 110 集, 27-32

- ・石井敦利・小山泰弘・市川隆一・久保木裕充・高島和宏・藤咲淳一(2006) : CARAVAN2400 小型電波望遠鏡による VLBI 観測, VLBI 技術による宇宙研究シンポジウム (JAXA 宇宙科学研究本部), 65-68
- ・石井敦利・市川隆一・久保木裕充・小山泰弘・高島和宏・藤咲淳一(2006) : VLBI Experiments Using CARAVAN2400 (CARAVAN2400 による VLBI 観測), IVS NICT Technology Development Center News (国際 VLBI 事業 情報通信研究機構技術開発センターニュース), 第 27 号, 9-13
- ・町田守人・石本正芳・高島和宏・近藤哲朗・小山泰弘(2006) : K5/VSSP data processing system of small cluster computing at Tsukuba VLBI Correlator (K5/VSSP を用いたクラスター計算指向の関連処理システム), IVS 2006 General Meeting Proceedings (2006 年 IVS 総会集録), NASA/CP-2006-214140, 117-126
- ・福崎順洋・渋谷和雄・土井浩一郎(2006) : Status and results of JARE Syowa station, Antarctica (南極昭和基地の観測事業の現状と成果), IVS 2006 General Meeting Proceedings (2006 年 IVS 総会集録), NASA/CP-2006-214140, 177-181
- ・雨宮秀雄・白井宏樹・濱崎英夫・鈴木啓・紀小麗・何金欄・宇津木充(2007) : 球キャップ調和解析を用いた 2000 年日本標準磁場モデルの構築, 測地学会誌, 第 53 巻, 第 1 号, 13-24
- ・田中愛幸・奥野淳一・大久保修平(2007) : A New Method for the Computation of Global Viscoelastic Postseismic Deformation in Realistic Earth Model (II) -Horizontal Displacement (現実的な地球モデルを用いた余効変動の新しい計算手法(II) -水平変位), Geophysical Journal International, 第 170 巻, 1031-1052
- ・和田弘人・松坂茂・藤原智・仲井博之・藤原みどり・雨貝知美・飛田幹男・福崎順洋・矢来博司(2007) : ALOS/PALSAR データの干渉 SAR 測量への利用とデータ処理・解析システムの構築概要, 国土地理院時報, 第 111 集, 107-117
- ・野神穂・都筑三千夫(2007) : 距離標準比較基線場のトレーサビリティの体系・標準化について, 国土地理院時報, 第 112 集, 7-15
- ・野村勝弘・渡辺政幸・岡村盛司・森田和幸・福崎順洋(2007) : GEONET 成果改定と日本のジオイド 2000 について, 国土地理院時報, 第 112 集, 17-27
- ・野村勝弘・渡辺政幸・吉川忠男・森田和幸(2007) : 屋久島周辺におけるジオイド・モデルの構築について, 国土地理院時報, 第 112 集, 29-40
- ・雨貝知美・石本正芳(2007) : GEONET にみられる大気擾乱の広域的な影響について, 国土地理院時報, 第 112 集, 41-49
- ・小門研亮・藤咲淳一・高島和宏(2007) : Tsukuba 32-m VLBI Station (つくば 32m VLBI 観測局), IVS 2006 Annual Report (国際 VLBI 事業 年報 2006 年版), NASA/CP-2007-214151, 103-106
- ・町田守人・高島和宏・重松宏実・岩田悦郎(2007) : Tsukuba VLBI Correlator (つくば VLBI 相関局), IVS 2006 Annual Report (国際 VLBI 事業 年報 2006 年版), NASA/CP-2007-214151, 151-154

[測図部]

- ・亀井福次・中野正広・望月正・矢沢勇(2006) : 応募デザインによる新しい地図記号の決定について, 国土地理院時報, 第 110 集, 33-41
- ・柴田光博・小井土今朝己・田中宏明・大木章一(2006) : 航空機搭載型センサによる都市熱環境調査, 国土地理院時報, 第 110 集, 43-54

- ・水田良幸・笹川啓・小井土今朝己・浦部ぼくろう・田中宏明(2007)：ALOS/PRISM データの2万5千分1地形図作成・修正への適用性の検証 ― 標定精度及び標高抽出精度の検証 ―, 国土地理院時報, 第111集, 119-124

[地理調査部]

- ・安藤久満・阿久津修(2006)：航空レーザ測量の標高データを利用した三条～長岡地区の「平成16年7月新潟・福島豪雨、信濃川下流災害情報図」の作成, 国土地理院時報, 第110集, 55-63
- ・星野実・木村幸一・木村佳織・檜山洋平(2006)：詳細な地震防災マップの作成について―高知市の揺れやすさマップを例に―, 国土地理院時報, 第110集, 65-80
- ・門脇利広(2007)：「数値地図5mメッシュ(標高)」を活用した地形表現事例, 地図, Vol. 45, No. 1, 57-60
- ・坂井尚登(2007)：地図における地形表現の変遷, 地図, Vol. 45, No. 1, 1-4
- ・Mayumi NOGUCHI, Keiko SUZUKI, Toshio KITAHARA(2007)：Extraction of Damages by Tsunami from ALOS Image at South Java in 2006 (「だいち」を利用した2006年ジャワ島南方沖地震における津波災害状況の把握), UJNR 耐風・耐震構造専門部会第39回合同部会, 109
- ・野口真弓・鈴木敬子・安喰靖・木村幸一・関崎賢一・北原敏夫(2007)：陸域観測技術衛星「だいち」データの防災分野における有効性, 国土地理院時報, 第111集, 125-130
- ・田口益雄(2007)：航空レーザスキャナデータを使用した建物被害把握技術の開発, 国土地理院時報, 第111集, 143-152
- ・星野実・飯田誠・木村幸一・高橋広典・北原敏夫(2007)：新しい都市圏活断層図について, 国土地理院時報, 第112集, 51-65
- ・清水雅行・川島悟・沼田佳典・三谷麻衣(2007)：地理情報標準に対応した主題図データの整備と提供について, 国土地理院時報, 第112集, 67-74
- ・永山透・関崎賢一・関口辰夫・内川講二・野口高弘・佐藤宗一郎(2007)：平成18年7月豪雨災害に関する地理調査部の取り組み, 国土地理院時報, 第112集, 75-87

[地理情報部]

- ・尾崎豊彦(2006)：触地図原稿作成システムの試験公開について, 月刊建設, 3月号, 33-35
- ・島田久嗣・石井宏・根本正美・高桑紀之・藤村英範・石関隆幸(2007)：災害情報共有プラットフォームに関する取り組み, 国土地理院時報, 第111集, 153-155
- ・大野裕幸(2007)：非ActiveX型電子国土Webシステムの構築, 国土地理院時報, 第112集, 89-96
- ・村岡清隆・河瀬和重・大野裕幸(2007)：電子国土情報集約システムの開発, 国土地理院時報, 第112集, 97-102
- ・吉成富夫(2007)：国土地理院の情報セキュリティ対策, 国土地理院時報, 第112集, 103-109
- ・西野保司・根本正美・尾崎豊彦・島田久嗣・藤村英範・山本陽子(2007)：国土変遷アーカイブ・空中写真閲覧システム, 国土地理院時報, 第112集, 111-114

[測地観測センター]

- ・津澤正晴(2006)：バングラデシュの地図, 地図情報, Vol. 26, No. 2, 8-11

[地理地殻活動研究センター]

- ・眞崎良光(2006) : Comparison of two AAM functions calculated from NCEP/DOE and ERA-40 reanalysis data sets (NCEP/DOE、ERA-40 の再解析気象データセットから計算された 2 つの AAM 関数の比較), Proceedings of the "Journées 2005 Systèmes ' de "Référence Spatio-Temporels" (ジェルネ 2005 空間と時間の基準系集録) , 241-242
- ・眞崎良光・松坂茂・田村良明(2006) : Local The Survey at VERA Ogasawara Sation at Site Chichijima (父島・VERA 小笠原観測局にけるローカルタイ測量), IVS 2006 General Meeting Proceedings, 366-370
- ・村上亮・水藤尚・小沢慎三郎・海津優(2006) : Earthquake Triggering by Migrating Slow Slip Initiated by M8 Earthquake along Kuril Trench, Japan (千島海溝で発生した M8 地震に励起された移動性ゆっくり滑りによる地震誘発) , Geophysical Research Letters , Vol.33 , L009306, doi:10. 1029/2006GL025967
- ・水藤尚・小沢慎三郎(2006) : 2004 年釧路沖地震以降の北海道東部の地殻変動と余効すべりの時空間変化, 月刊地球, Vol. 28, No. 7, 459-462
- ・長谷川裕之(2006) : 米軍撮影空中写真のカラー化とその評価, 月刊測量, 2006 年 8 月号, 6-9
- ・西村卓也・鷺谷威, Ross S. Stein(2007) : Crustal block kinematics and seismic potential of the northernmost Philippine Sea plate and Izu microplate, central Japan, inferred from GPS and leveling data (GPS と水準測量データから推定されたフィリピン海プレート北端部と伊豆マイクロプレートの地殻ブロック運動と潜在的な地震活動度) , Journal of Geophysical Research, 112, B05414, doi:10. 1029/2005JB004102
- ・宗包浩志(2006) : Ocean mass variations from GRACE and tsunami gauges (重力観測衛星 GRACE と津波計で計測した海洋質量変動について) , Journal of Geophysical Research , 112 , B07403, doi:1029/2006JB004618
- ・小沢慎三郎・水藤尚・今給黎哲郎・村上亮(2007) : Spatiotemporal evolution of aseismic interplate slip between 1996 and 1998 and between 2002 and 2004, in Bungo channel, southwest Japan (豊後水道におけるゆっくり地震) , Journal of Geophysical Research , 112 , B0549, doi:10. 1029/2006JB004643
- ・長谷川裕之・都竹正志(2006) : LIDAR データを用いた道路領域抽出における反射強度の有用性, 写真測量とリモートセンシング, Vo. 45, No. 4, 26-34
- ・佐藤浩・宮坂聡・牧田肇・八木浩司・小荒井衛(2006) : 白神山地・泊の平地区における航空ハイパースペクトルセンサデータを用いた植生のマッピング, 写真測量とリモートセンシング, Vo. 45, No. 5, 32-45
- ・飛田幹男(2006) : パキスタン地震の地殻変動三次元マップ, サイスマ, 第 10 巻, 第 10 号, 8-9
- ・宇根寛・熊木洋太(2006) : パキスタン北部地震による地表断層変位の "リモートセンシング" , E-journal GEO, Vol. 2, 86-94
- ・藤原智・飛田幹男・佐藤浩・小沢慎三郎・宇根寛(2006) : 衛星 SAR 解析による 2005 年パキスタン北部地震の地殻変動量と地震断層の推定, E-journal GEO, Vol. 2, 95-103
- ・佐藤浩(2006) : 2005 年パキスタン北部地震による斜面崩壊の分布, E-journal GEO, Vol. 2, 104-120
- ・岩橋純子・佐藤浩・山岸宏光(2006) : 新潟県中越地震による小崩壊の分布特性—平成 16 年新潟県中越地震 1:25, 000 災害状況図のデータを中心に—, 国土地理院時報, 第 110 集, 81-89
- ・水藤尚・小沢慎三郎(2006) : 2004 年釧路沖地震以降の北海道東部の地殻変動と余効すべり, 国土地理院時報, 第 110 集, 91-94

- ・今給黎哲郎・小沢慎三郎・西村卓也・水藤尚(2006) : 2005年8月16日の宮城県沖の地震に関連した地殻変動と断層モデル, 国土地理院時報, 第110集, 95-100
- ・佐藤浩・小荒井衛・加藤悟・牧田肇・八木浩司(2006) : 白神山地・ニッ森北麓における航空レーザ測量データと毎木調査結果の比較, 国土地理院時報, 第110集, 101-117
- ・小荒井衛(2006) : 欧州(英仏独)における空間情報施策の概要, 国土地理院時報, 第110集, 119-128
- ・宇根寛・藤原智・飛田幹男・小沢慎三郎・佐藤浩・小荒井衛(2006) : DETECTION OF CRUSTAL DEFORMATION OF THE NORTHERN PAKISTAN EARTHQUAKE BY SATELLITE DATA (人工衛星データから検出したパキスタン北部地震における地殻変動), 25th ISTS Proceedings, 1649-1653
- ・佐藤浩・小荒井衛・長谷川裕之・岩橋純子・神谷泉(2006) : Interpretation of slope failure distribution triggered by the northern Pakistan earthquake on 8 October 2005 using SPOT5 stereo-imageries. (SPOT5画像を用いて2005年10月8日パキスタン北部地震による斜面崩壊分布の特徴), Proceedings of the 38th joint panel meeting of Wind and seismic effects, United States-Japan Natural Resources (天然資源の開発利用に関する日米会議耐風・耐震構造専門部会第38回合同部会概要), 土木研究所資料第4022号, 329-334
- ・大井信三・地理地殻活動研究センタースタッフ(2006) : Visit to the Monuments of the Nankai Earthquake, UJNR06 Excursion Guide. (南海地震の碑を訪ねて-UJNR06巡検ガイド), Proceedings of The 6th Joint Meeting of The UJNR Panel on Earthquake Research (天然資源の開発利用に関する日米会議地震調査専門部会第6回合同部会会議録), 13
- ・佐藤浩・長谷川裕之・藤原智・飛田幹男・小荒井衛・宇根寛・岩橋純子(2007) : Interpretation of landslide distribution triggered by the 2005 Pakistan earthquake using SPOT5 imagery (SPOT5画像を用いた2005年パキスタン地震による斜面崩壊分布の判読), Landslides, 4, 113-122
- ・今給黎哲郎(2007) : 測地測量データから見た伊豆衝突帯の変動-丹沢の隆起とブロックモデル-, 月刊地球特集号, 号外, No. 57, 83-91
- ・秋山実・佐藤浩・小荒井衛・本間信一(2007) : 雪崩実績図を用いた雪崩の発生条件分級加点図の評価とその改良, 写真測量とリモートセンシング, Vol. 46, No. 2, 4-16
- ・長谷川裕之(2007) : 米軍写真を用いた終戦直後の自然景観の定量的再現, システム農学, Vol. 23, No. 1, 21-31
- ・岩橋純子, R. J. Pike(2007) : Automated classifications of topography from DEMs by an unsupervised nested-means algorithm and a three-part geometric signature, Geomorphology, 86, 409-440
- ・西村卓也・藤原智・村上亮・水藤尚・飛田幹男・矢来博司(2007) : 福岡県西方沖地震に伴う地殻変動と断層モデル, 月刊地球, Vol. 29, No. 2, 98-105
- ・西村卓也(2007) : 地震予知の科学, 東京大学出版会, 218
- ・水藤尚・小沢慎三郎(2007) : GPS連続観測による東海地方の地殻変動とプレート境界面上のすべり分布の推定, JACIC情報, 84号, Vol. 21, No. 4, 5-10
- ・佐藤浩・八木浩司・小荒井衛・岩橋純子・関口辰夫(2007) : Airborne LIDAR data measurement and landform classification mapping in Tomari-no-tai landslide area, Shirakami Mountains, Japan, In: Sassa et al. (eds) (白神山地・泊の平地すべり地区における航空レーザデータ計測と地形分類のマッピング), Progress in Landslide Science (地すべり科学の進歩), Springer, 355-367
- ・西村卓也・鷲谷威(2007) : 富士山周辺の広域テクトニクス-地殻変動データに基づく関東・東海地方の地殻ブロック運動, 富士火山, 203-217

- ・長谷川裕之・佐藤浩・岩橋純子(2007) : Continuous Caldera Changes in Miyakejima Volcano after 2001 (三宅島火山に生じたカルデラの2001年以降の形状変化), 国土地理院報告(欧文), 第54巻, 60-64
- ・眞崎良光(2007) : Expected Seasonal Excitations of the Earth Rotation by Unmodeled Geophysical Fluids (モデル化されていない地球物理流体による地球回転季節変動の励起), 国土地理院報告(欧文), 第54巻, 65-73
- ・神谷泉(2007) : Geometric Characteristics of the Early Products of ALOS PRISM (ALOS PRISMの初期プロダクトの幾何学的性質), 国土地理院報告(欧文), 第54巻, 75-82
- ・今給黎哲郎(2007) : 総合技術開発プロジェクト「災害情報を活用した迅速な防災・減災対策に関する技術開発及び推進方策の検討」について, 国土地理院時報, 第111集, 131-135
- ・今給黎哲郎(2007) : 火山噴火・地震などの発生予測のための準リアルタイム地殻変動状況把握技術の開発ー災害情報を活用した迅速な防災・減災対策に関する技術開発及び推進方策の検討ー, 国土地理院時報, 第111集, 137-141
- ・小荒井衛・佐藤浩・宇根寛(2007) : 地震による地盤災害と土地条件との関連に関するGIS解析, 国土地理院時報, 第112集, 115-123
- ・神谷泉・小荒井衛・松坂茂・平井英明・田中愛幸(2007) : ICタグの測量、測位への利用, 国土地理院時報, 第112集, 125-132

※執筆者、題名、論文名、発表項の順に掲載

注) この一覧は、国土地理院各部、各センター、各地方測量部、支所及び測地観測所に対する照会に基づき作成した。